

令和7年度 学校教育自己診断結果（教職員）

n = 47

全体の肯定%の変化 左から R5-R6-R7年度
(最上が95%、最下が55%、10%刻みの目盛り)

質問	肯定%		■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない	R 6年度	R 5年度	R5-R6-R7
1 教職員は、学校の教育活動について、日常的に話し合っている。	85.1%	全体	40% 45% 15%	89.4%	98.0%	
2 貝塚高校の教育活動には、他の学校にない特色がある。	93.6%	全体	66% 28% 6%	93.6%	90.0%	
3 教職員は、学校教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	78.7%	全体	23% 55% 19%	78.7%	84.0%	
4 各教科は、教材の精選・工夫を行っている。	91.5%	全体	47% 45% 4%	91.3%	89.6%	
5 教職員は、学習指導の方法や内容について、他の教科の担当者と話し合う機会がある。	70.2%	全体	28% 43% 19%	60.9%	60.9%	
6 教員がICT機器を活用している授業が多い。	89.4%	全体	53% 36% 4%	97.8%	91.5%	
7 生徒がICT機器を使用している授業が多い。	74.5%	全体	26% 49% 15%	71.7%	72.3%	
8 教職員は、生徒の意見をよく聞いている。	85.1%	全体	49% 36% 11%	89.4%	97.9%	
9 学校は、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	80.9%	全体	36% 45% 11%	86.7%	89.4%	
10 生徒による問題行動が起こったとき、組織的に対応できる体制が整っている。	76.6%	全体	26% 51% 17%	71.7%	83.7%	
11 教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員とも相談することができる。	87.2%	全体	38% 49% 9%	83.0%	85.1%	

令和7年度 学校教育自己診断結果（教職員）

n = 47

全体の肯定%の変化 左から R5-R6-R7年度
 （最上が95%、最下が55%、10%刻みの目盛り）

質問	肯定%	■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない	R 6年度	R 5年度	R5-R6-R7
12 学校は、生徒指導面で、家庭への連絡や意志疎通を積極的に、きめ細かく行っている。	78.7%	全体 30% 49% 15%	84.8%	93.9%	
13 学校は、進路指導面で、家庭への連絡や意志疎通を積極的に、きめ細かく行っている。	85.1%	全体 26% 60% 11%	83.3%	97.8%	
14 学校は、生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	89.4%	全体 34% 55% 6%	87.0%	87.5%	
15 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	85.1%	全体 43% 43% 11%	86.7%	87.2%	
16 教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。	59.6%	全体 15% 45% 30% 2%	82.6%	78.7%	
17 職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意志疎通や意見交換の場として有効に機能している。	53.2%	全体 11% 43% 43% 4%	68.1%	68.0%	
18 日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができている。	76.6%	全体 23% 53% 21%	68.1%	84.0%	
19 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	89.4%	全体 23% 66% 9% 2%	68.1%	76.0%	
20 学校は、教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	89.4%	全体 26% 64% 9%	87.2%	86.0%	
21 学校は、仕事のICT化を進める、時間外勤務を減らす等、働き方改革に取り組んでいる。	78.7%	全体 21% 57% 15% 6%	74.5%	72.0%	
22 学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている。	78.7%	全体 34% 45% 21%	85.1%	86.0%	